

考・努・感

尾張旭市立旭中学校

旭中学校ウェブサイトもご覧ください。

<http://www.owariasahi.jp/asahi-j/>

☆三者懇談をするねらい☆

中学校では、『より一層本人に自覚してもらおう!』ことをねらいとして三者懇談を実施しています。三者懇談を終えた今、あなたの心には何が残っていますか? これまでは、家族や先生から注意されたことをただ改善すればよかったということもあったでしょう。しかしこれからは、もし改善しなくてはいけないことがあったならば、「なぜ、いけないのか?」「なぜ直さなくてはいけないのか?」を自分自身でしっかりと理解していく必要があります。なぜなら、これまでよりも自分で判断する場面や責任を負う状況が増えるからです。少しずつですが、あなたたちは大人への階段を上っているのです。1年後の懇談から『進路』についての話が具体的になってきます。今を大切にすることはもちろんですが、先を見据えた生活・学習を心がけていきましょう。

【夏の思い出～2年生の夏～】

2年生の夏の話です。私は旭西中学校で、野球部に所属していました。先輩が27人いる中で、運良く先生を含め2年生が3人だけユニフォームをもらうことができました。(ベンチ入りは20人です。)中総体は惜しくも負けてしまったのですが、中日少年野球という大きな大会は勝ち残っていました。そして、忘れもしない県大会準決勝。この試合を勝てば、東海大会への出場権を獲得するという試合でした。相手は強豪大府西中学校でさすがに強く、5回表が終わった時点で0-5。5回裏、何とか逆転しようと相手投手を責め立て、2死満塁というチャンスが巡ってきました。そこで、9番の先輩に代わり、先生が代打で出ました。今でもその状況を思い出せますが、これほど緊張をしたことがないというくらい緊張していたことを覚えています。結果は、初球のワンバウンドになるカーブを空振り。2球目も同じようなカーブに手を出し、ポテポテのサードゴロでした。その後、チームも崩れて結局ボロ負けで終わり、先輩たちは引退していきました。今でも「もし、先輩がそのまま打席になっていたら・・・」とか、「もし、自分がヒットを打っていたら・・・」と思い出してしまうときがあります。

(学年主任 寺田泰次郎)

先週末から中総体が始まりました。3年生にとっては最後の夏の戦いです。どんな表情・戦いを見せてくれるのか楽しみです。



（今週の予定）

- 11日(月) 総合「自学の時間」
- 13日(水) 学年行事
(晴):ウォークラリー
(雨):ミニレク at 体育館
- 14日(木) 総合「進路学習」
委員会



（保護者の皆さんへ）

先週はお忙しい中、三者懇談のためにお越しいただきありがとうございます。学校での様子(学習・生活)をお知らせすると共に、家庭での生活の様子をお聞きする貴重な機会となりました。残り2年生としての期間は、来年度に向けてとても大切な期間です。子どもたちのやる気と良さを引き出していけるように、担任はもちろん学年職員一同、子どもたちに関わっていきたく思います。今後ともよろしくをお願いします。



藤田 昇己 中学生

(名古屋市昭和区) 14歳

時間の使い方。それは、
僕が生活して行く上で、一
番大切にしたいことだ。時
間はお金と買えない。生
きる時間は限られている。だ
から、有意義な時間を過
したいと思う。

けれども、必ずしも効率
から納得できればいいと思
う。例えば、知らない場所
へ通ったとき、初め

時間を上手に使いたい

どんな時間の使い方が正
しいのか。僕は、自分で後
から納得できればいいと思
う。例えば、知らない場所

は遠回りした方が、楽し
い人生になるかもしれない。
近道を探せばいい。簡単に
言えば、同じ失敗を繰り返
さないことだ。

当たり前のことだが、意
外とできていない。このよ
うなことを心がけ、将来は
できる人になりたい。

日々密度の濃い「二十四時間
を過ごしたい」。
いろいろな時間がある中
で、特に家族との時間も大
切にしたい。楽しい家庭が
あれば幸せであり、お互い
に支え合っている。
「時は金なり」。この言
葉を胸に、時間を上手に使
える人になりたい。

5月13日(中日新聞)

守田美沙樹 中学生

(滋賀県米原市) 14歳

道の周りのごみ拾いをし
ている男性を見かけまし
た。制服だったので、仕事
なのでしょう。あいさつに
笑顔で応えてくださったま
した。仕事を楽しくそうにされ

ていたのよっに見えました。
「ありがとう」はあまり好ま
れている印象がありません。
学校でもそのよっの時間
は好きではない人のほうが
多く、私もそうです。男性
はその仕事を希望したのか
わかりませんが、楽しそう

です。きつと、町をきれい
にできるというやりがい
を見つけたのでしょうか。
私は今年職場体験を控え
ており、将来の仕事も視野
に入れていかなければなら
なくなりそうです。将来の夢
はありますが、かなわない

仕事にやりがいを発見

可能性も十分にあります。
もし希望していたのとは別
の仕事に就いたとき、やる
気をなくすのははいけませ
ん。そのとき、どれだけそ
の仕事の必要性を考え、や
りがいを見つけられるかこ
そが大切だと思うのです。

5月23日(中日新聞)



「僕は自分で後から納得できればいい。」
「そのとき(希望していたのとは別の仕事に就いたとき)に、どれだけその仕事の必要性を考え、やりがいを見つけられるかこそが大切。」

将来のことだけに限らず、今の学校生活の中でも同じようなことが言えるのではないのでしょうか。ただ単に効率だけを追求することが本当にいいことでしょうか。私自身、大学に進学するときも教員という職業に就くときもそれぞれ回り道をしました。しかし、今の自分があるのは、その時の自分自身の頑張りがあるからこそだと思っています。また、自分の好きなこと・希望することに対して一生懸命取り組むことは当たり前のことです。人間性が表れるのは、それ以外の部分でどれだけやりがいを見つけ、責任をもって取り組めるかではないでしょうか。